

# 男女がともに輝くために

共に輝くみほの会  
—美浦村女性行政推進協議会—

問合せ 企画財政課  
☎029-885-0340(内)208

## 「参加」から「参画」へ 意識を変えてみませんか

荒井美幸

変えています。このPTAの役員活動も参画だと思えます。美浦中学校でも、生徒会を中心に、自分たちの学校の自分たちのルール(校則)は自分たちで考えて変えていく取り組み、これこそ参画ではないでしょうか。この様に特別なことではなく、誰でもが携わっており、今後も携わるものだと思います。

今回は誰もが分りやすく、身近な例をあげながら、村内の学校に通う子どもをもつ保護者の目線で書いていこうと思います。まず、参加と参画の違いから。参加は、すでにあるものに加わる事。参画は、事業や政策を立ち上げる段階から加わる事です。

私は、大谷小学校で役員活動をやっていますので、PTAで子ども達の為に、「これで良いのか?」ここを変えるべきでは?」と意見を交わし合い、今の時代に合ったものを作り

「男女が共に」の部分も、役員活動の一つになります。

これまでの「女性ネットワーク委員会」という名称が「子育てネットワーク委員会」と名称変更になりました。子育ては母親がやるという考えから、子育てに携わる全ての方を対象とするものへと変わったことも進歩です。さて、少し昔を思い出すと、私が子どもの頃は、中学校では「男子は技術、女子は家庭科」と分かれて学んでいましたが、調べてみると平成2年度から男女が共に学ぶ「技術・家庭科」へと変わっていききました。このように時代の流れと共に、自然に参加するようになっていきます。

参加だけで終わらせるのではなく、今後また変わっていく世の中に「はたしてこれで良いのか?」「このままで大丈夫なのだろうか?」と声をあげ、共に参画していく機会にも触れて頂ければと思います。私たちが輝くみほの会では、「どこに相談したら良いかわからないのか?」という身近な疑問や問題を気軽に語り合う活動を行っていますので、まずは参加から始めてみませんか。



この様に身近なものとごときっかけに、村民の皆さまのまなざしが男女共同参画へと向いてくだされば幸いです。

## 私たちが一緒に活動しませんか?

共に輝くみほの会ー美浦村女性行政推進協議会ーでは活動を共にできる会員を、男女問わず募集しています。どうぞお気軽にお声かけください。

問合せ 企画財政課



## みほ文芸

美浦村文化祭 里謡大会 兼題「月・風」

野良に一生狂いも無くて心澄み切る秋の月  
風にかすかな野焼きの匂い暮れてひっそり冬の月  
月を眺めて夜風に当り恩師偲んで詠む里謡  
月を見上げて思いを馳せるこの世未練のかぐや姫  
眩し月光湖面に落ちて波が糸引く金の道  
恩師好月筑風次いで里謡の手解き感無量  
月と芒は似合いの仲で風も涼やか十三夜  
朝の運動三月も続けやればできると自分ほめ  
円い地球をなぜ傷つける心痛めるお月様  
無人駅にも明かりが灯り暗い夜道に星月夜  
言葉探すとわずかな才でわたしや月一里謡づくり  
苦楽彩なす人生行脚花鳥風月みち連れに  
風にくるくる落ち葉の舞に秋の終りの円舞曲  
震浦の湖面を満月赤く染めて煌く夜の湖  
彼と歩いた月夜の湖畔今は一人の散歩道  
ペダル踏み踏み風きる男子月の明りで家路にと  
震浦の湖への十五夜月にコロナ消えてと妻祈る  
十二月の俳句(題 当季雑詠)  
観音の咫尺に落葉嵩をなす  
里いもの葉の大きくて村しぐれ  
年の瀬や割烹着て妻若し  
口開けて鯉待つ池に散る紅葉  
喧騒を逃れ裏道冬紅葉  
黄衣を脱いで天つく銀杏の木  
あんこうと肝と豆腐で煮て喰らう  
薪高く積み奥飛驒の冬支度  
ささ竹を振る夫の早や煤払い  
凍星や戦禍の子等の笑顔何時  
秋の陽やうけて笑えむ磨崖仏  
躍り口つくばいに浮く散り紅葉  
川岸は望遠レンズ鳥渡る  
黄落や友との会話止め処無し  
身に沁むや五輪の闇の底はるか

- 飯塚 筑風
- 石戸 律華
- 伊藤 葉子
- 井戸 賀継道
- 上野 八千代
- 小園 江久美
- 門脇 悠美
- 佐藤 十枝
- 篠原 美千代
- 関根 秀子
- 高橋 一步
- 田島 草実
- 塚本 夏雲
- 長谷川 悦子
- 山岡 亜子
- 山岸 錦洋
- 山崎 泰弘
- (五十首題)
- 青野 安佐子
- 石毛 恵美子
- 市川 紀行
- 海道 民子
- 木澤 はしめ
- 小林 美佐恵
- 高柳 幸子
- 田島 早苗
- 中島 輝子
- 長田 敏笑
- 増尾 尚子
- 松葉 統子
- 宮崎 さみ枝
- 村崎 典子
- 山口 美代子